

# ●モノグラフ小学生ナウ



子どもとお年玉



Vol.1-6

1981.教育図書出版(株)福武書店 教育研究所・調査室/加藤智穂・賀川雅子  
千葉大学教育学部附属小学校教諭 上杉賢士・奈良教育大学教授 深谷昌志

## 目次

調査を実施して	2
要約	3
1. お年玉をどのくらいもらったか	4
● 8人の人から、20,000円ぐらい	4
● 思ったより、ちょっと多め	6
● でも、友だちはもっともらっているから	7
● もう少し多いぐらいがちょうどいい	8
2. お年玉をくれる人	9
● お父さんのお年玉	9
● お母さんのお年玉	11
● いちばんたくさんくれた人	13
3. お年玉の使いみち	16
● 買ったかった物・買った物	16
● 貯金のこと	18
● お年玉のゆくえ	21
資料1・調査票見本	23
資料2・学年・性別集計票	25

### 調査概要

調査対象 ● 東京・千葉の小学4・5・6年生 計1466名  
調査時期 ● 昭和56年5月  
調査方法 ● 学校通しによる質問紙調査

## 調査を実施して

子どもたちが描くお正月の風景も変わってきた。北風を受けて冬空に乱舞するのは、伝統的な「やっこ凧」などにかわって、「カイト」と呼ばれる洋凧となり、こたつのない茶の間では、電子ゲームに興ずる団樂が繰り広げられる。

そうした様変わりの中で、昔も今も変わらないものといえば、親から子に、おとなから子どもに渡される「お年玉」ではなかろうか。「お正月」をキーワードに連想ゲームをすれば、子どもならさしずめトップかその次ぐらいにくるであろうお年玉は、現在の子どもたちにとっても、お正月を迎える大きな楽しみのひとつである。毎年2月か3月になると、いくつもの調査機関が、お年玉の「手取り額」を発表し、世間の親は、その金額の多さに、改めて当惑する。

ほしいと思えばたいいのものはそれほど無理なく手に入る現在とはいうもののお年玉という名の多額の「臨時ボーナス」はどのように使われていくのだろうか。こう考えて見ると、お年玉の授受という風景は変わらないとしても、その中味は大きく変わってきているだろうことが容易に想像できる。

ここでは、巻末に掲げた調査票をもとに、お年玉の額やゆくえを追ってみた。間もなくお正月。先生方やご両親にとって、お年玉を考える一助になれば幸いである。

昭和56年11月

千葉大学教育学部附属小学校教諭

上杉 賢士

奈良教育大学教授

深谷 昌志

## 本報告書の要約

- ① 子どもたちは、平均して、8人から20,000円前後のお年玉を手に入れている(図1、図2)。
- ② しかし、他の友だちは37,000円ほどもらったと考えているので、自分の入手額は、他の人より少ないと感じている(図4)。
- ③ 父親のお年玉は小4の2,500円から小6の3,100円。また、母親は1,700円(小4)~2,700円(小6)である(図6、図11)。
- ④ 子どもたちがお年玉で買ったものは、平均して5,000円に留まっている(図16)。
- ⑤ そして、残りの16,000~17,000円は貯金にまわっている。そのため、子どもたちの貯金通帳の中味は過去からの蓄積で、平均90,000円近くに達している(図17、図19)。

### 提言

お正月とはいえ、小学生が20,000円という高額を手にするのは、正常とは言いがたい。事実子どもたちは、5,000円を使う程度で、あとは貯金に回っている。したがって、お正月の慣行としてお年玉を与えるにしても、総額を現在の半額以下に留めておく必要があるだろう。特にお年玉の主な与え手は肉親に限られているので、年末のうちに、お年玉の額を協定しておくのが望ましいと考えられる。

# 1. お年玉をどのくらいもらったか

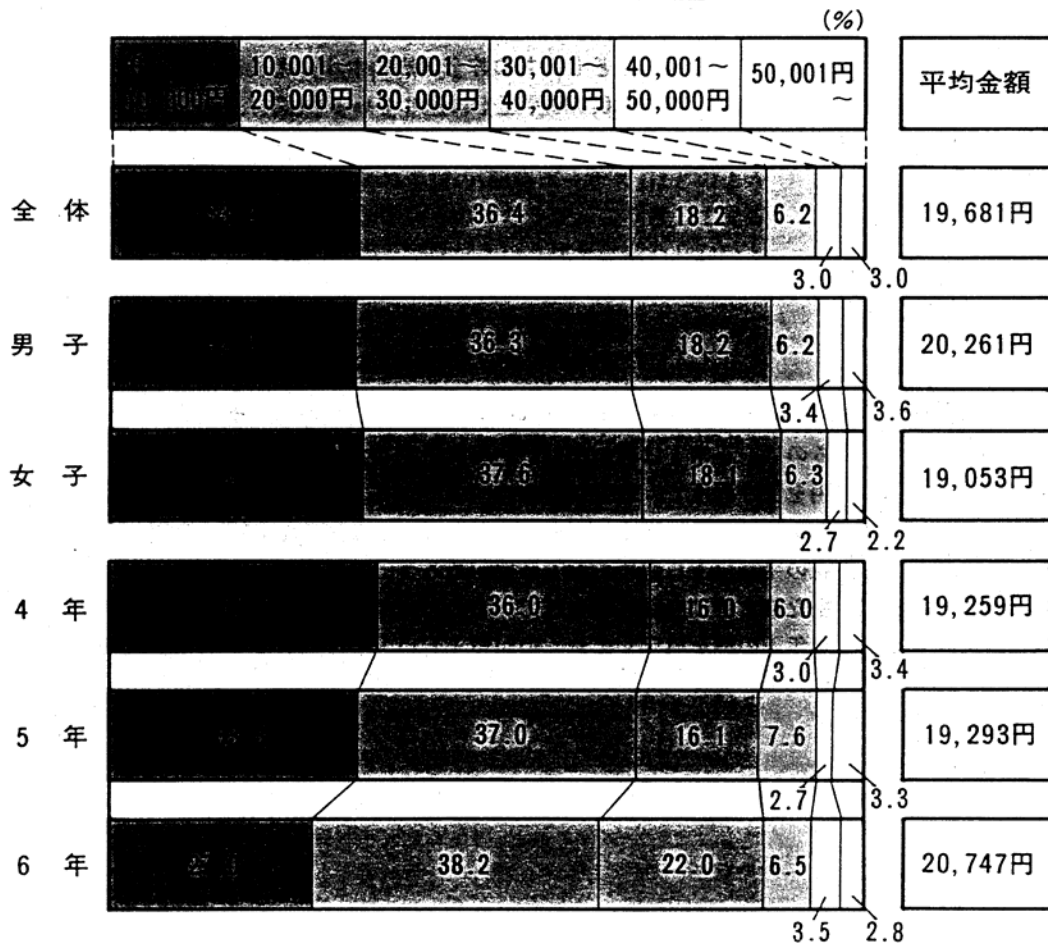
## 調査の概要

調査は、巻末に掲げたような質問紙を用いて実施された。サンプルは、4年生から6年生までの小学生計1466名で、首都圏の公立小学校4校・私立小学校1校の計5校に、学校

経由で調査を依頼した。なお、調査時期は、本調査のテーマである「お年玉」の使いみちがはっきりするころという配慮から、昭和56年5月に実施した。

8人の人から、20,000円ぐらい

図1・いくらもらったか

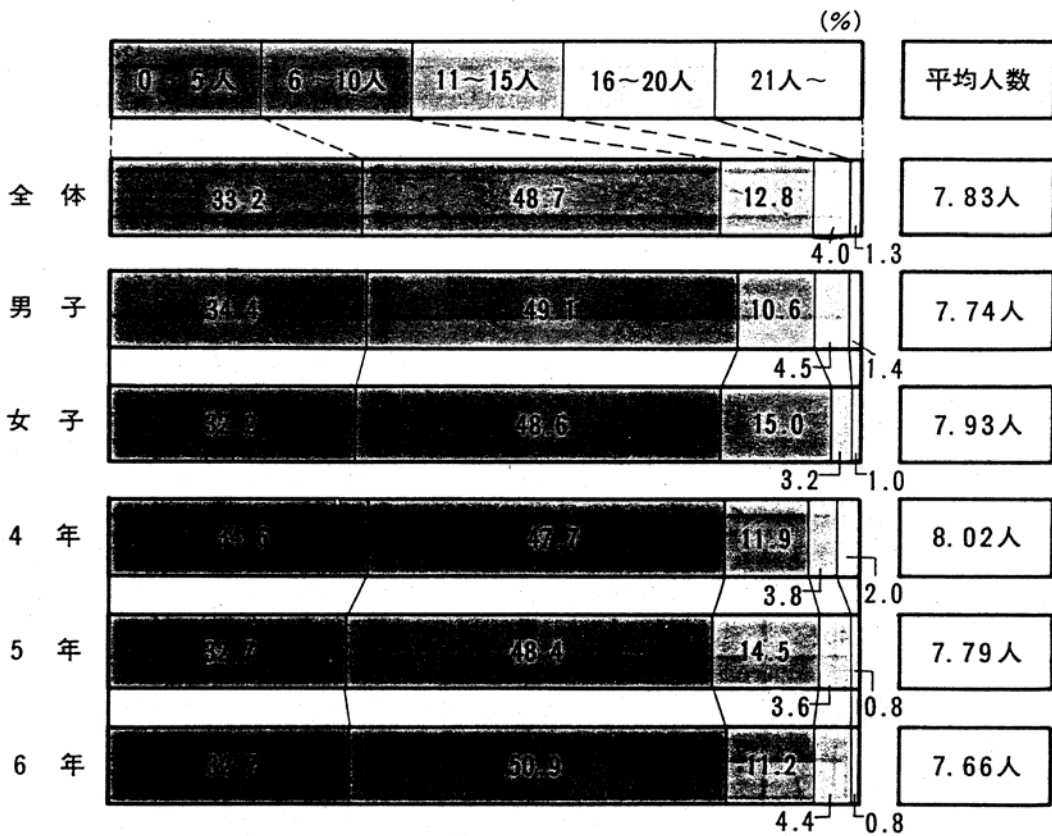


「お年玉」という言葉でまず気になるのは、子どもたちがどのくらいの額を手にしたのかということであろう。さっそくデータを眺めてみることにしたい。図1に、男女別・学年別にそれぞれの金額の割合と平均金額を示してある。10,000円以内という子どもが全体の約半、20,000円までという子どもが約半、さらにそれ以上とする子どもが約半と、全体が3つのグループに等分される。男女差・学

年差も思ったより少なく、平均金額もほぼ20,000円程度と安定している。ちなみに、調査票に記入された最高額は28万円であった。

そして、図2に示したように、この額をおよそ8人ぐらいの人からもらっているのだ。おとなが子どもに渡す1人あたりのお年玉の相場は2,000円から3,000円ということになる。千円札1枚では子どもにあまりいい顔をされないということなのだろう。

図2・何人からもらったか



## 思ったより、ちょっと多め

さて、この20,000円という金額の子どもたちにとっての意味を探るために、子どもたちに様々な角度から評価させてみることにした。

まず図3は、もらう前の胸算用と比較してこの金額がどうであったかをたずねた結果である。「わりと」と「とても」を合わせると、意外にも、全体の5割弱の子どもがもらった

額が予想より「多かった」と答えている。それに対して「とても・わりと少なかった」と不満を表明するのは、2割程度に留まっている。この結果を見る限り子どもたちは、20,000円というお年玉の金額にほぼ満足しているように思われる。

図3・予想と比べて

	(%)				
	とても 少なかった	わりと 少なかった	だいたい 同じだった	わりと 多かった	とても 多かった
全体	6.6	11.7	34.1	29.6	18.0
男子	8.1	18.9	33.1	25.5	18.7
女子	1.4	35.3	34.0	34.0	17.2
4年	1.1	35.2	24.9	22.3	
5年	6.0	35.0	28.8	17.4	
6年	6.3	31.8	36.4	13.4	

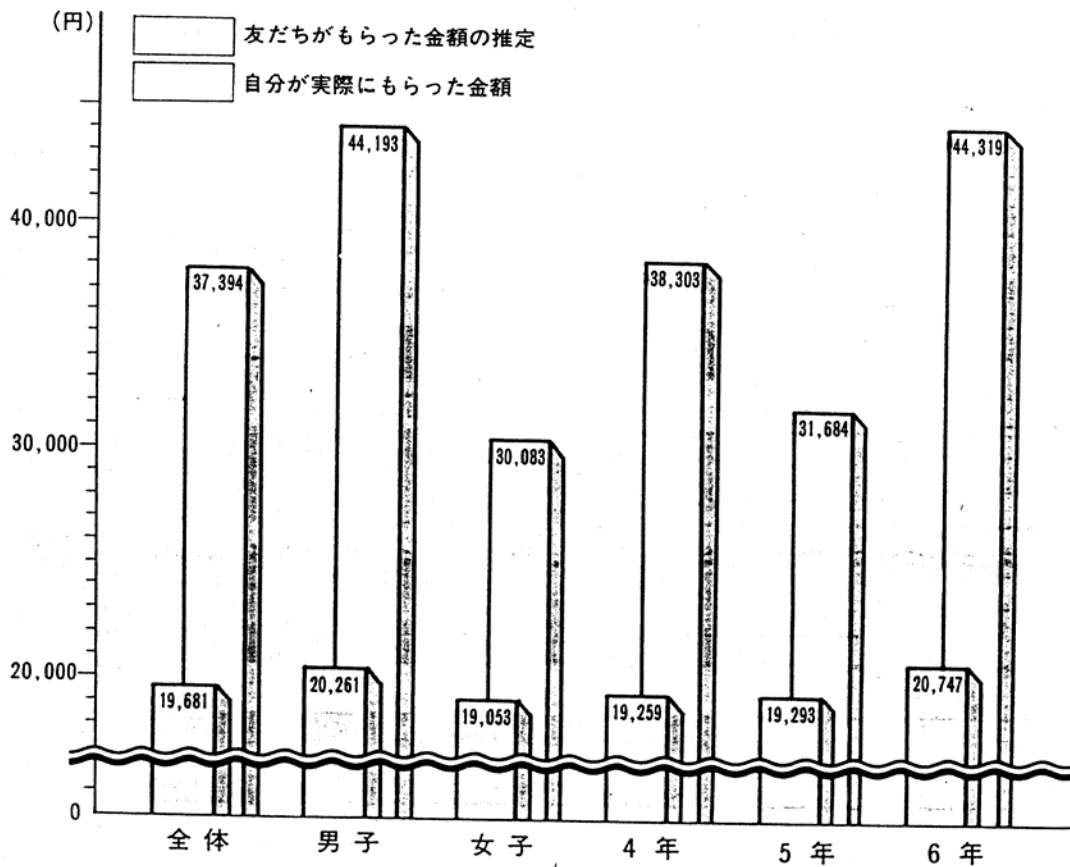
## でも、友だちはもっともらっているから

しかし、図4をごらんいただきたい。これは、友だちがだいたいいくらぐらいのお年玉を手にしたかを推定させた結果である。男子は44,000円と自分のおよそ2倍、女子でも30,000円と1.5倍と、男女ともに友だちは、自分より多くお年玉をもらったと感じている。

冬休み明けの教室で、おそらくお年玉のことも話題になるのであろう。そして、ごく一部の極めて高額なお年玉を手にした友だちが自慢気に手柄話を語るが、そうした印象が推

定額をつり上げる一因になっているのであろうか。しかし、現実をもっとつつましやかなのだと、子どもたちに直接伝えたい気もしてくる。それにしても、自分の手にした額にはある程度の満足感を示しながらも、なおかつ友だちはずっとたくさんもらっているだろうと思ひ、そのため、なんとなく、不満感が残る。豊かな中での飢餓感と言えばよいのであろうか。現代の社会の縮図を、子どもたちの心の中に見る思いがする。

図4・友だちはいくらぐらいもらったと思うか

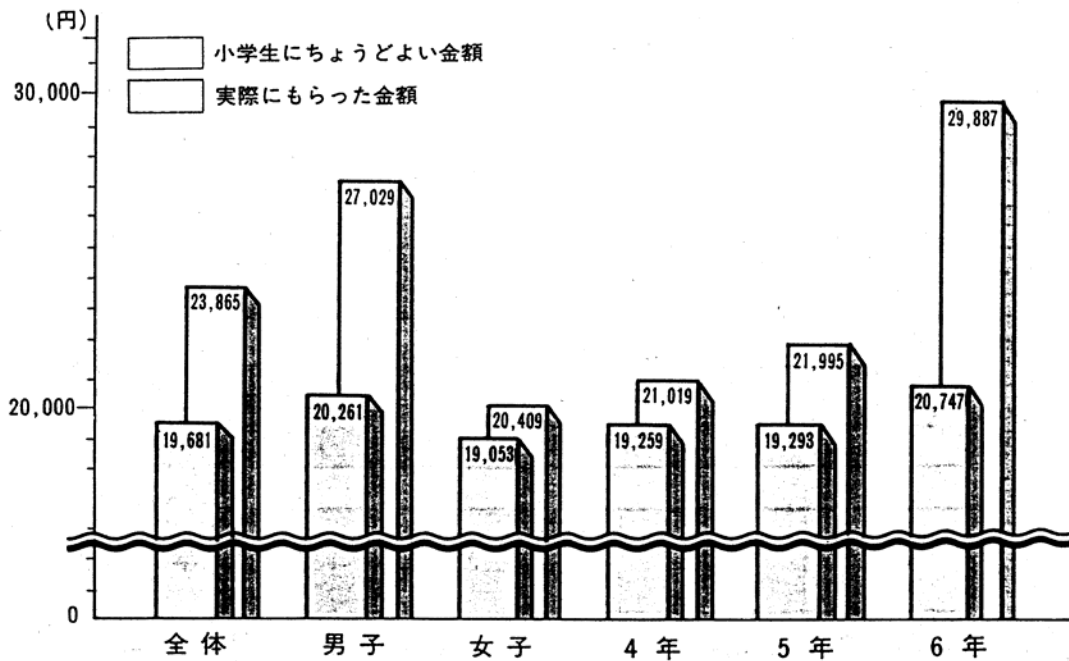


## もう少し多いぐらいがちょうどいい

以上のような心理的な起伏を乗り越えて、子どもたちは、一体いくらぐらいがちょうどよい金額だと考えているのであろうか。図5をごらんいただきたい。自分の手にした額にある程度満足を示していた子どもたちも、友だちのもらった額を思いうかべるのか、結局、今よりもう少し多くもらいたいと答えている。具体的には、図5の通り、あと4,000円、つ

まり、もう2割ほど多いと満足できるという結果である。しかし、同じ図の学年別の数字が示すように、学年が上がるにつれて、希望額は高くなり、6年生は30,000円を望んでいる。となると、中学生たちに調査をすれば、40,000～50,000円が希望額となるのであろう。欲望は限りなくという思いが強まってくる。

図5・小学生にちょうどいい金額





## 2. お年玉をくれる人

### お父さんのお年玉

この章では、両親を始めとした、子どもたちにお年玉をくれる人の問題、言い換えれば、お年玉をめぐる子どもたちを取り巻く人間的な環境の問題を考えてみよう。

まず、図6には、お父さんがくれたお年玉の結果を掲げてある。1,000円以内（集計の都合上、「0～1,000円」としたが、おそらく千円札1枚と考えていいだろう）だったのが、4年生で45%、5年生39%、6年生26%と、学年を追うにしたがって減少し、次第に高額になっている傾向が示されている。そして、平均金額を見ても、4年生と6年生ではおよそ700円の差が認められる。父親たちは子どもたちの発達や成長に応じて、それなりの配慮をしつつお年玉を与えているのであろう。それでは、父親のくれるこの金額に対して子どもたちはどのような感想を抱いているのであろうか。図7は、前に述べた図3と同じ方法で、子どもたちに満足度をたずねた結果を示している。トータルの金額には予想以上だと約半数の子どもたちが反応していたのに対して、父親のお年玉に対しては、「まあ、こんな

もんだらう」と、意外に冷静な評価をくだしている。父親のふところ具合やら、またここ数年の傾向から、子どもたちは、父親から渡されるお年玉の袋の中味にある程度の見通しを持っているのであろう。

念のため、父親からお年玉をもらう時、どのようにして渡されるのかをたずねてみた。図8にまとめたように、「1月1日の朝、家族のみんながそろっているところで、お年玉用のふくろにきちんと入れて」と、ここでは伝統的なスタイルが踏襲され、昔ながらの風景が続いているように思われる。金額の多少は別として、元旦の朝、家族が一堂に会し、誓いを新たにする、そうした場で子どもたちの健康や成長を願いつつお年玉を手渡す。せめてお正月ぐらいは、父親の権威が復活しているのであろうか。先ほどの多くても3,000円という金額も含めて、父親の一連の配慮がうかがえて、ほほえましい姿である。しかし、残念ながら、そうした父親の配慮も20,000円というお年玉の総額を前にすると、むなしい抵抗という感じがしないでもない。

図6・お父さんがくれたお年玉

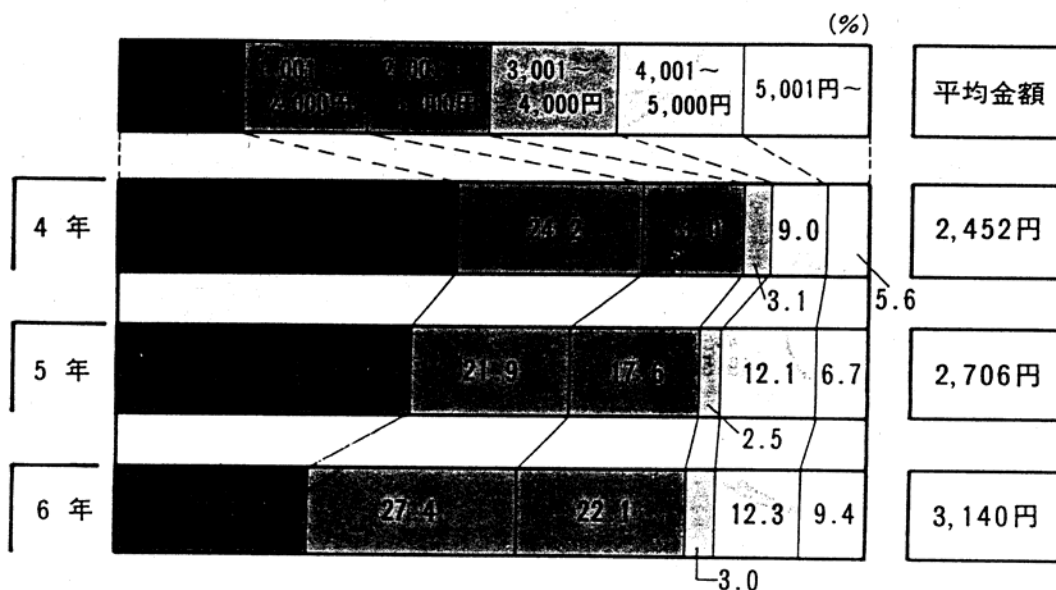


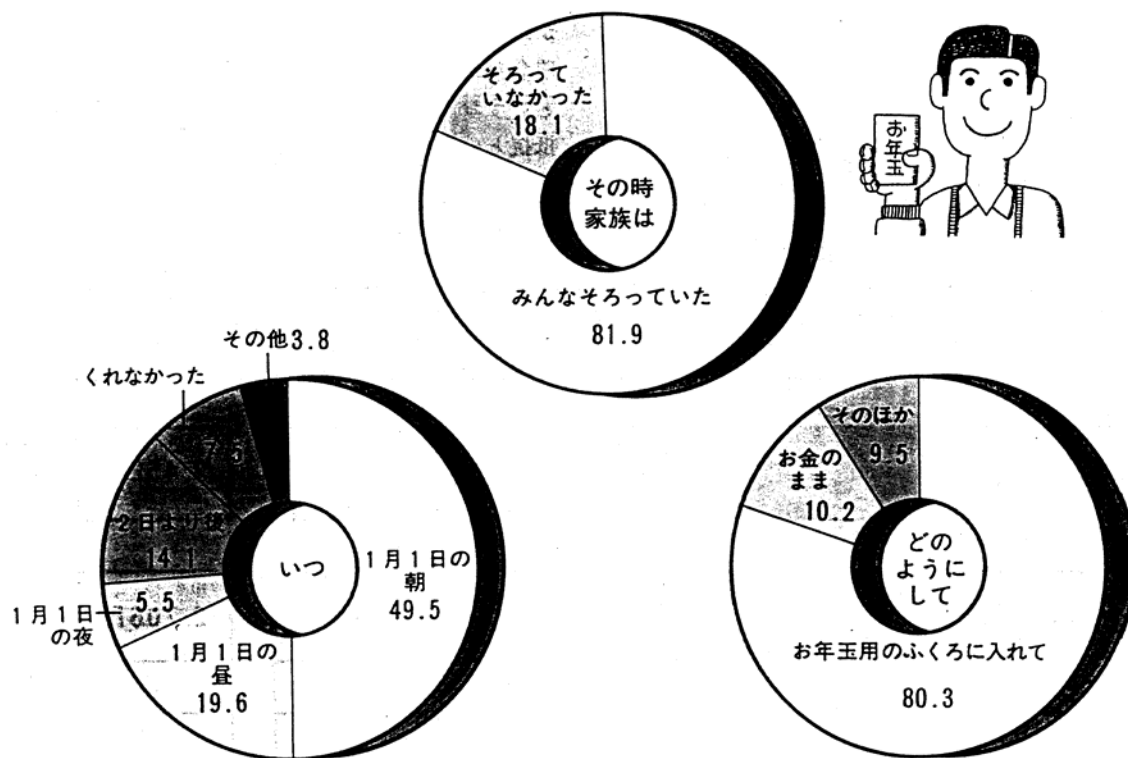
図7・予想と比べて(お父さんのお年玉)

(%)

	予想より少なかった	わりと少なかった	だいたい同じだった	わりと多かった	とても多かった
4年	13.5	15.1	45.4	15.9	10.1
5年	11.3	11.3	49.1	18.7	9.5
6年	11.3	12.3	48.0	22.3	6.1

図8・お父さんはどのようにしてくれたか

(%)



## お母さんのお年玉

それでは、子どもと常日項、密接に暮らしている母親たちも、お正月には、お年玉を与えるのであろうか。図9によると、およそ半数の子どもがお母さんからのお年玉をもらっており、図10から、その大部分が現金であることがわかる。もっとも図11を見ると、さすがに金額は押さえられていて、せいぜい2,000円から3,000円といったところに留まっている。それにしても、母親までお年玉を与える必要があるのだろうか。もともと父親が子どもにお年玉を与えるというのは、親を代表してと

いう意味合いのもとに行われる行為なのではないだろうか。

なんとなく、父親と母親とが、子どもの心をつなぎとめるために、お年玉コンテストをしているという感じがしないでもない。子どもに対する両親の愛情が、金額となって表れるとも考えられるので、やはり、お年玉を与えるにあたっては、父親が両親を代表する形をとるか、あるいは、両親は同額とするか、なんらかの形で、バランスをとる必要があろう。

図9・お母さんは

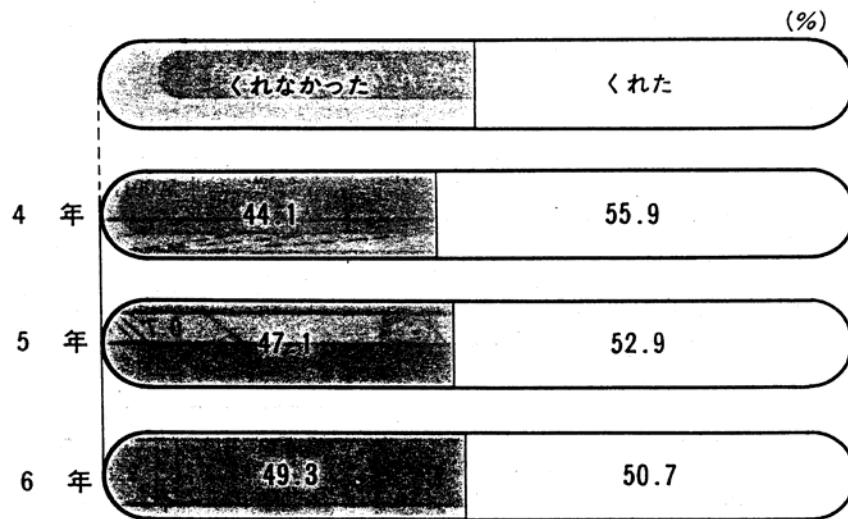


図10・お金か物か(お母さんのお年玉)

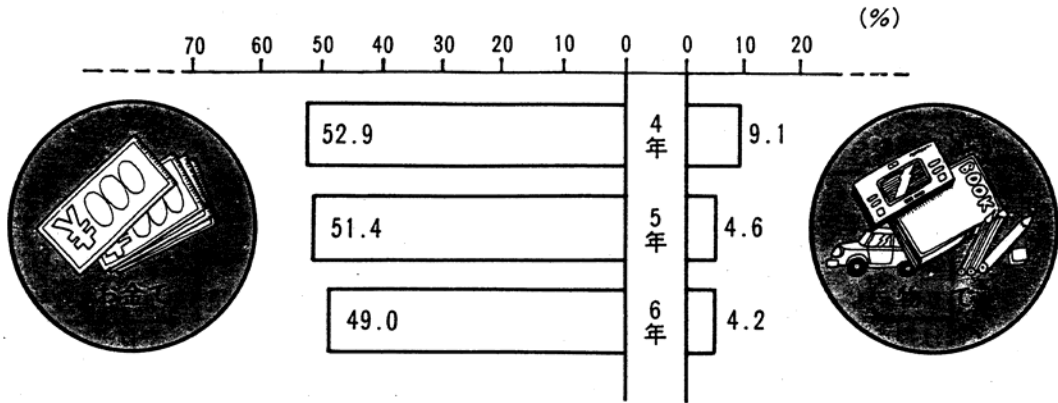
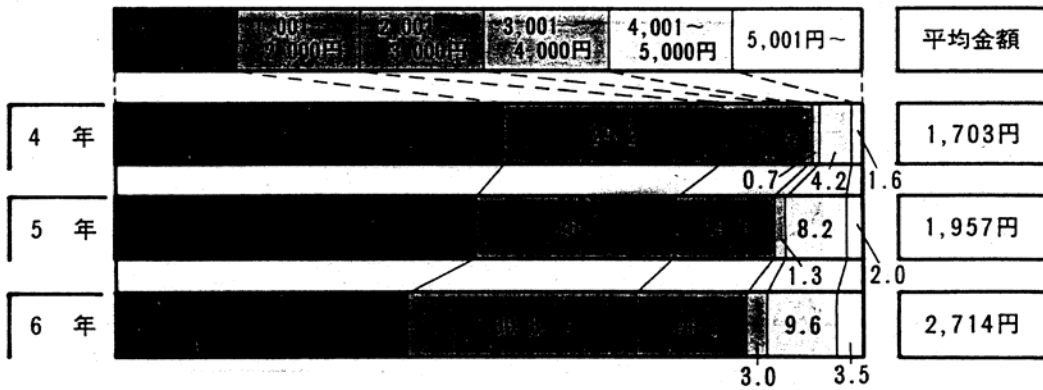


図11・お母さんがくれた金額



## いちばんたくさんくれた人

すでに触れたように、子どもたちは、平均8人の人からお年玉をもらっているというのであるから、両親の他にも、お年玉をくれる人はまだかなりいることになる。そして、父親のくれたお年玉は予想通りだといながら、トータルでは予想をかなり上回っている。とすれば、子どもたちへの大手の出資先は、両親とは別にいることになる。

図12をごらんいただきたい。これは最も高額のお年玉をくれた人の結果である。父親を上回るのが「おばあさん」の26%、次いで「おじいさん」の21%となる。この結果は、祖父母がすでにいない子どもたちも含んでいるから、高額出資者における祖父母の占める割合はもっと大きいのかも知れない。調査の対象となった子どもたちは首都圏に生活しているのであるから、祖父母とは別居というケースもかなりの数になろう。とすれば、年に何度

も見ない孫の顔を見て、お年玉でも奮発してあげようと思う気持ちもわからなくはない。それにしても、5,000円を超える額(図13より)が子どもたちが一度に手にする額として適正なのか再考の余地があろう。

ちなみに、「いちばん少なかった人」は皮肉にも「ちょうどよい」とする「お父さん」で、最低額の平均は1,200円から1,700円程度といったところである(図14、15より)。

調査結果を入手する前、子どもたちは、もう少し、肉親以外の人、つまり、近所の人や親の仕事先の人などから、お年玉を得ているのではと思っていた。しかし、お年玉を与えている大半は、両親と祖父母、おじ、おばなどの肉親で占められていた。親の取引先などの他人ならばともかく、そうした身内のやりとりには、お年玉の総額が多すぎるように思われてならない。

図12・いちばんたくさんくれた人

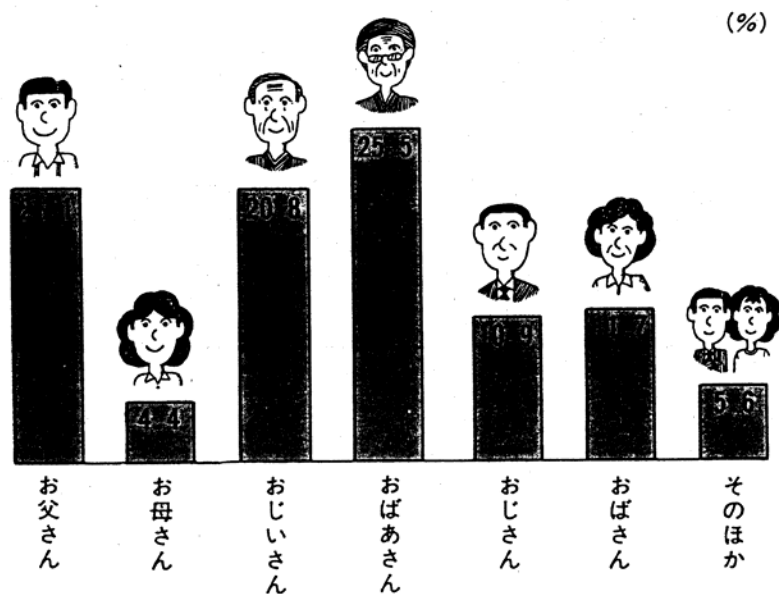


図13・1人の最高額

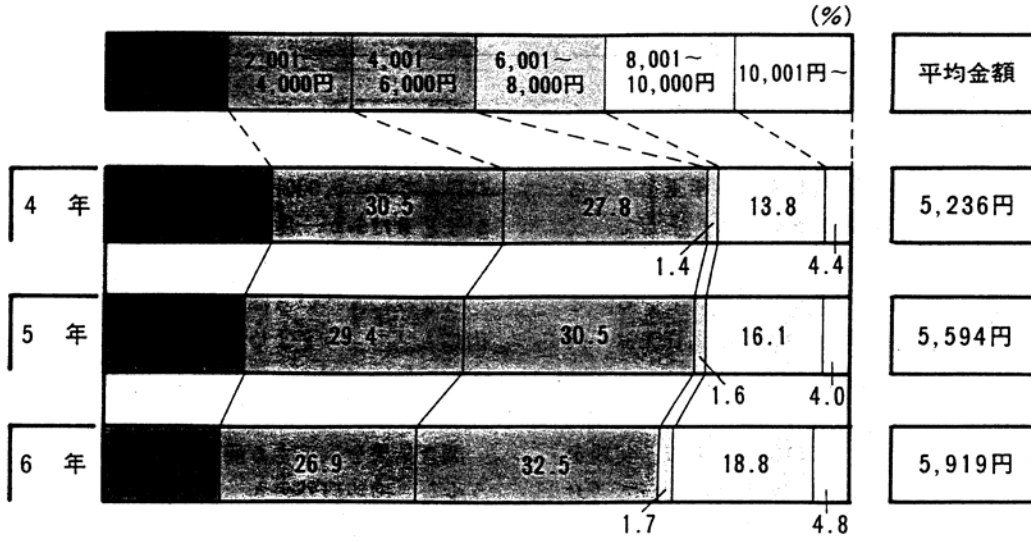


図14・いちばん少なかった人

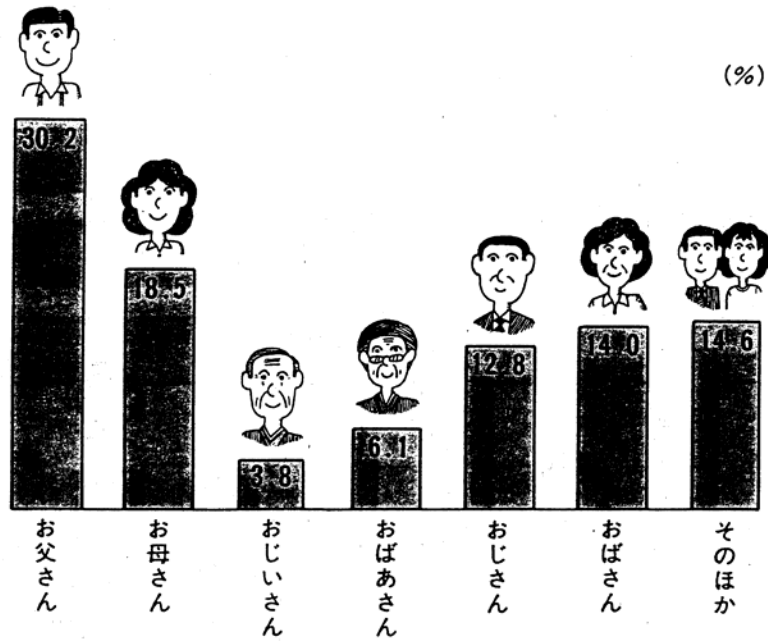
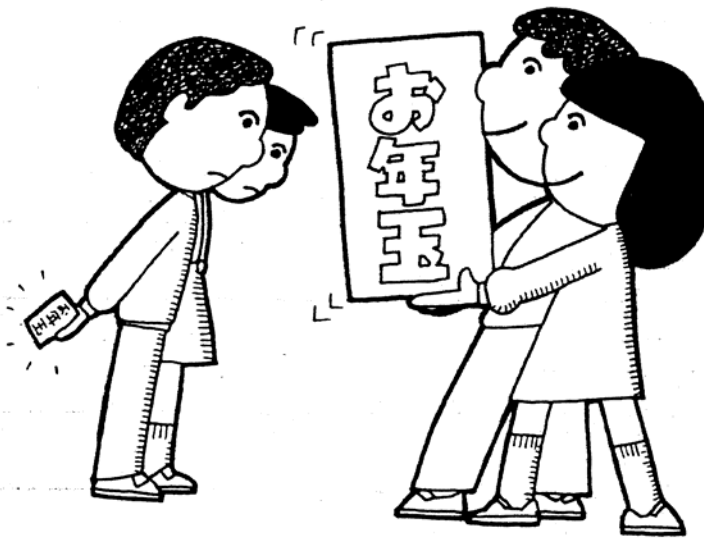
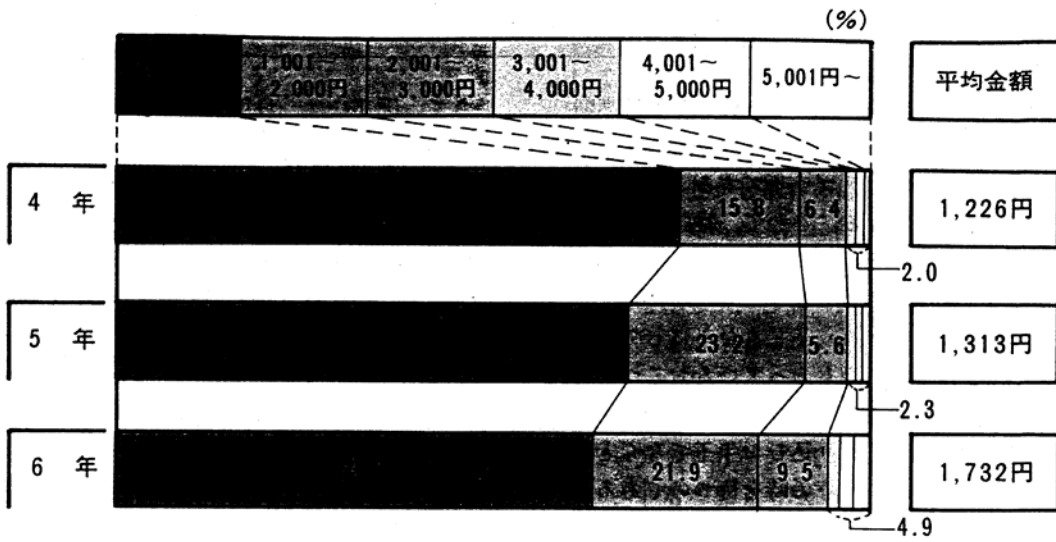


図15・1人の最低額



### 3. お年玉の使いみち

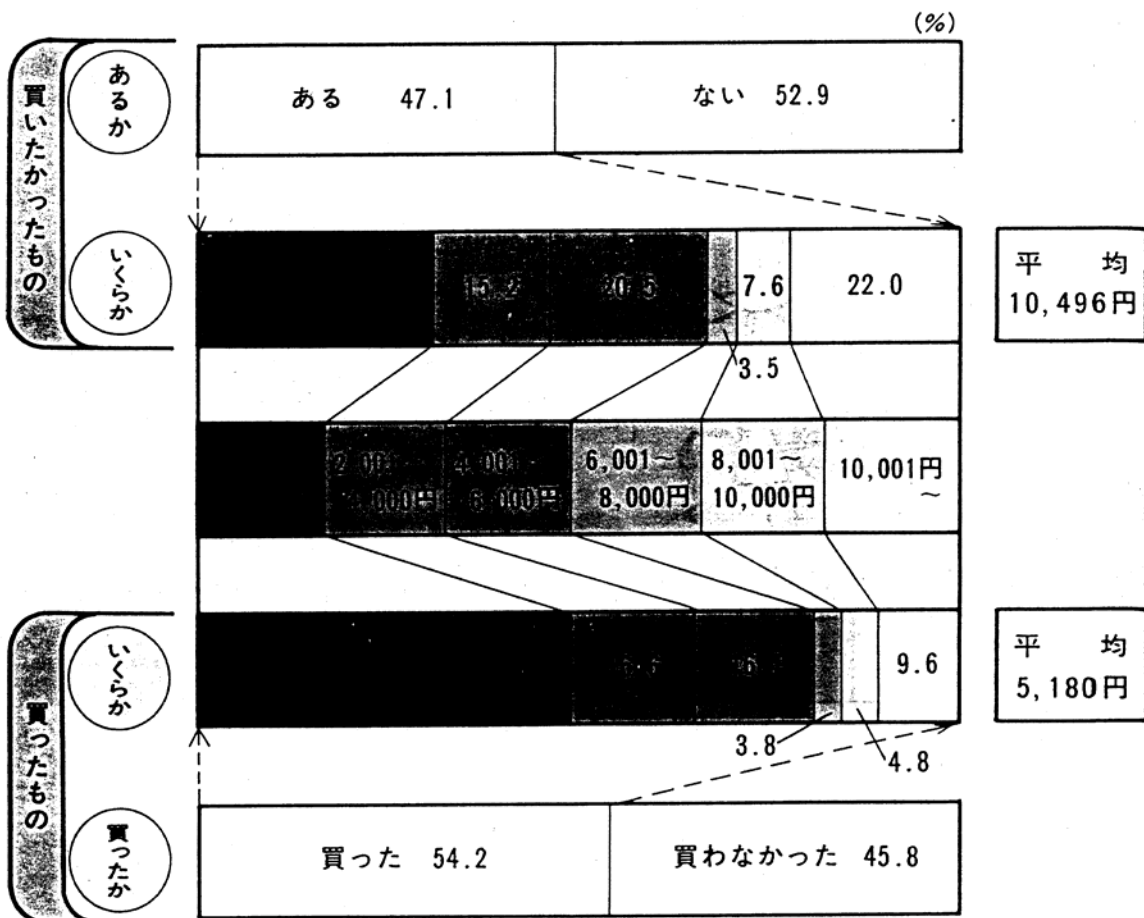
#### 買ったかった物・買った物

子ども向け市場に送り出される商品は高額化の一途をたどり、また品質や機能・用途も「おもちゃ」にカテゴライズすることが困難になってきている。そして、雑誌のCMやカタログを通して手許に届けられる情報は、当然のことながら、子どもたちの購売意欲をそそらずにはおかない。子どもたちにしてみれば、日常的に親からもらっているおこづかいではとても手の届かない夢の商品も、一挙に多額のお金がころがり込むお年玉でならと、胸算用をしながら、その時を待つのであろう。

さて、図16には、お年玉をもらったら買いたいと思っていたもののあるなしとその金額を上段に、下段には、実際に買ったものとその金額を、対比させて掲げてある。

まず、お年玉で買おうとしていたものがあると答えた者は47%、実に半数を割るという結果となった。お年玉は誰しもほしいと思うし、特別な事情がない限りほぼ確実に手に入る。こうしたイージーさが、逆に欲求を鈍化させているのかもしれないが、それにしても使いみちについての具体的なあてがない者が

図16・お年玉で買ったかった物・買った物(金額)





半数という結果は、予想外であった。彼らは物質的に満ち足りているのであろうか。そして、実際にお年玉で何かを買ったという子どもも54%とほぼ半数でしかない。さらに、買いたいものがあったという子ども、実際に買物をしたという子どもたちも、その金額は、約10,000円から5,000円へとほぼ50%もダウンする。

なお、表1には、自由記述法で得られた具体的な品名を、全サンプルの言にあたる280名を無作為に抽出して集計した結果を掲げてある。買いたかった物は、男子ではブームを反映して電子ゲームとつり道具が、女子では趣きが異なって、堅実に本が最上位を占める。これに対して、実際に買った物では、電子ゲームよりはおそらくかなり安いのであろうプラモデルが男女を通じて最上位にランクされる。さらに、「まんが・雑誌」や「食べ物」など、特にお年玉でなくてもと思われるような商品までが、男女ともベストテン圏内に入ってしまう。大金を手にした割には、かなり

つつましやかな使いっぷりである。

こうした傾向は歓迎すべきなのはたしかだが、もちろん、その背後には「むだづかいはしないように」と、親たちが、口を酸っぱくして、注意をしたことが考えられる。そして、子どもたちが見せたつつましやかさは、親の注意に従順に応えた結果だと読み取れなくはない。しかし筆者らには、お年玉の金額が、子どもたちが実際に使いたいと考えている額より、多すぎるためと思われる。

子どもたちが、日常、買うものは、キャンディ、アイスクリーム、まんが本、プラモデル……………など、いずれも、何百円の単位にすぎない。したがって、5,000円でも、使い慣れない大金であろう。したがって、子どもたちが、平常の感覚を失わない限り、お年玉を使い残すのは、当然のように思われる。その結果、いずれにせよ、お年玉の大半が、子どもたちの手に残り、うまく活用した場合でも、銀行か郵便局通いということになる。

表1・お年玉で買いたかった物・買った物BEST10

(男女各140人を抽出して集計した結果)

(人)

買いたかった物		買った物	
1	電子ゲーム (ゲームウォッチを含む) 15	1	プラモデル 29
2	つり道具 12	2	電子ゲーム 19
3	ラジコン 11	3	まんが・雑誌 17
4	もけい 6	4	つり道具 14
5	うで時計 5	5	野球用品 10
6	野球用品 5	6	ラジコン 9
7	ラジカセ 4	7	食べ物 6
7	プラモデル 4	8	もけい 5
9	ルービックキューブ 3	9	映画 4
10	ローラースケート 2	10	うで時計 3

買いたかった物		買った物	
1	本 9	1	本 16
2	レコード 8	2	学用品 13
3	電子ゲーム (ゲームウォッチを含む) 7	3	レコード 10
4	衣類 5	4	電子ゲーム 9
5	ローラースケート 4	4	まんが・雑誌 9
6	ルービックキューブ 3	6	プレゼント 8
6	ぬいぐるみ 3	7	衣類 7
6	学用品 3	8	食べ物 6
9	生き物 2	9	バッグ (ポシェットを含む) 5
9	手芸用品 2	10	手芸用品 4

## 貯金のこと

したがって、物を買う以外の用途といえ、当然のことながら、「貯金」に絞られてくる。

図17には、その貯金額の結果を掲げてある。10,000円を超える額を貯金したという子どもが半数以上という結果である。前に紹介したデータを思い起こしていただきたい。10,000円といえば、子どもたちが手にした総額のちょうど半分となる。ざっと計算して、お年玉の半分は子どもたちの手を通して郵便局や銀行に眠ることになり、子どもたちの手許に残るのは、貯金総額が記載された通帳ということになる。さらに驚くべきことは、図18に示したように、8割から9割の子どもが少なくとも自分の意志で貯金したという点である。

その中で、6割弱の子どもたちは、「増えるのが楽しみだ」と、あたかも守銭奴の如き様相を見せるに至っている。参考までに、現在の貯金残高を図19に掲げた。ざっと90,000円近くが子ども名義で貯金されている。

いずれにしても、貯金通帳に化けてしまえば、子どもたちもそれほど容易には使えなくなる。貯金という形が、親の「一時預かり」なのか、実質的な「没収」を意味するのか、判定は微妙なところだが、どちらにしても、お年玉の半分以上が貯金に化ける。とすれば、お年玉の高額さを、さほど心配する必要はないのかもしれない。さらにいえば単なる通過儀礼のように、お年玉を与えるであるなら、

図17・お年玉で貯金した金額

	金額 (円)					平均金額
	2,001~ 4,000円	4,001~ 6,000円	6,001~ 8,000円	8,001~ 10,000円	10,001円 ~	
4年	1.9	2.4	7.4	13.4	52.4	16,926円
5年	6.7	10.1	5.5	15.7	55.2	18,876円
6年	6.6	8.9	6.2	14.4	57.2	17,774円

初めから相当額が記載された通帳を渡すことの方が教育的だというような冗談のひとつもいいたくなる。

もうひとつの貯金の形態、「親の預かり」の結果を、図20と図21に掲げてある。額は少ない

とはいうものの、その後のゆくえは「わからない」とする子どもが約半数と、むしろ大金が手に余って、それほどの執着を示さない傾向が示されている。

図18・貯金した理由

		(%)		
		特に買いたいものが なかったから	増えるのが楽しみで 自分から進んで	家の人に言われて 仕方なく
4年		22.3	58.9	18.8
5年		30.4	59.8	9.8
6年		35.4	54.9	9.7

図19・これで貯金総額はいくらになったか

		(%)					平均金額
		10,001~ 20,000円	20,001~ 30,000円	30,001~ 40,000円	40,001~ 50,000円	50,001円 ~	
4年				8.2	8.2	33.7	85,844円
5年		11.3	10.1	8.9	10.1	46.7	87,087円
6年		12.1	8.2	5.9	12.2	51.0	89,392円

図20・家の人に預けたのは

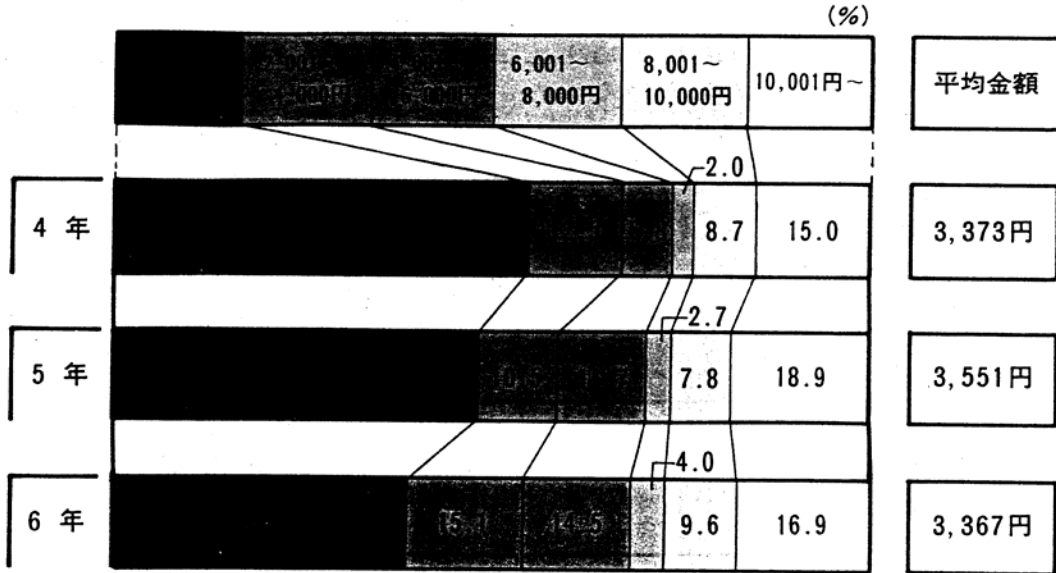
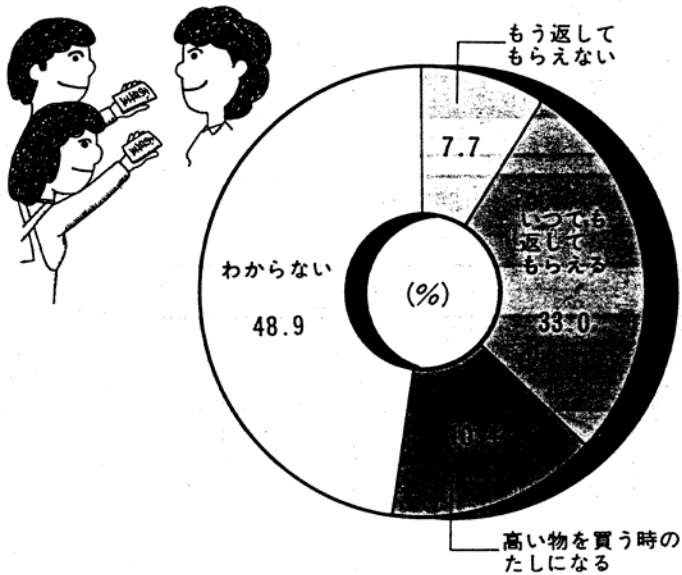


図21・家の人に預けると



## お年玉のゆくえ

さて、この章では、「物を買った」「貯金した」「家の人に預けた」の3つについて、その実態を明らかにしてきた。これに、「現在残って手許にある」のデータを加えて、お年玉全体のゆくえを追うことで、本論のまとめとしよう。

なお、ここでは調査票の中で、それぞれの項目について金額が無記入の場合は0として（例えば貯金額が無記入の場合は「貯金しなかった」とみなして）、サンプル全体の平均値を求めるという方法により算出した。

図22・図23は、前記の4項目の割合を男女別・学年別に5つのグラフに表したものである。

どのグラフにおいても、「貯金した」が5割前後と他を圧倒し、「使った」と「残ったので持っている」を合わせた数値、つまり、一応子どもたちの裁量に任された形になった金額の割合は、最も高い男子の結果でも38%と低く押さえられていることがわかる。

さて、このように予想外にもお年玉は子どもたちにとって必ずしも「夢を買う武器」としての性格を持っていなかった。そして、大半が貯金といういわば「閉じたお金」となって手許から消えてしまっている。それにもかかわらず、子どもたちは、なお「今よりもう少し多くしてほしい」と願っている、貯金通帳の残額が増えるのが、楽しみというのであろうか、なんとなく、不健全な感じは拭いがたい。

そこで、最後に、調査を終えた感想として、お年玉についてのいくつかの提案を行っておきたい。

### 1. あらかじめ、お年玉の総額を決めておく

まず、生まれてから、1円もかせいだことのない子どもたち、つまり、金銭の重みのわからない子どもたちが、年に1度とはいえ、20,000円もの大金を手にするのは、どう考えても望ましくない。金銭感覚を麻痺させ、浪費を奨励することになりがちだからである。しかも、お年玉の与え手の大半が身内で占め

られていることを考えると、暮れの内に、お年玉の総額をおおよそ決めておくのが望ましかろう。具体的には、もっとも多い場合でも、総額が、小学4年生で5,000円、5年生で7,000円、6年生で10,000円ぐらいが妥当と考えられる。したがって、父親、あるいは、母親の与える額も1,000円(4年生)から2,000円(6年生)止まりにすべきであろう。

### 2. 高額商品をひとつだけ買わせる

それと同時に、子どもたちは、細かいものをこまごまと買っているのだから、思いきって求めたいと思っていた高額の商品をひとつだけ求め、その他はむだづかいをさせないようにする指導も必要と思われる。時には、お年玉を頭金にし、その他は前借りの形で、望遠鏡を買うというような形もあってよい。

### 3. 貯金の使い方を指導する

さらに、お年玉の大半を貯金するとしても、その使いみちが問題となろう。父の日や母の日、あるいは、誕生日などに、貯金をおろして、他人にプレゼントをする習慣をつけさせるべきであろう。貯金通帳を死蔵させておいたのでは、子どもたちの金銭観が育ってこない、子どもたちに通帳を管理させ、貯金をおろすつらさを味わわせる必要がある。それと同時に、通帳の中から、恵まれない人たちへ募金させることなども行わせたいことのひとつである。

### 4. お年玉をもらった人へプレゼントする習慣をつける

また、子どもたちは、もらうことに慣れてしまう可能性が強いため、お年玉をもらった人に、ささやかなものでよいから、なにか、自分で作ったもの——絵でも、ボール紙で作った箱でも——を、プレゼントする習慣を身につけさせたい気がする。

いずれにせよ、お年玉という習慣は、経済的に貧しかった時代の産物で、現在のような豊かな社会には不適切の感は免れがたい。したがって、家庭によっては、お年玉全廃にふ

3.お年玉の使いみち

みきってもよいように思われる。お正月らしい新たまった感じは、お年玉抜きでも、十分に味わえるように考えられるからである。

親が率先してお年玉を与えておきながら、子どものむだづかいや金使いの粗さを注意す

るのは矛盾も甚だしい行為であろう。金銭は、ひたいに汗をしながら手にするもの。そうした感覚を身につけさせるためにも、安易にお年玉を与える態度だけは慎んでほしいと思った。

図22・お年玉のゆくえ(男・女別)

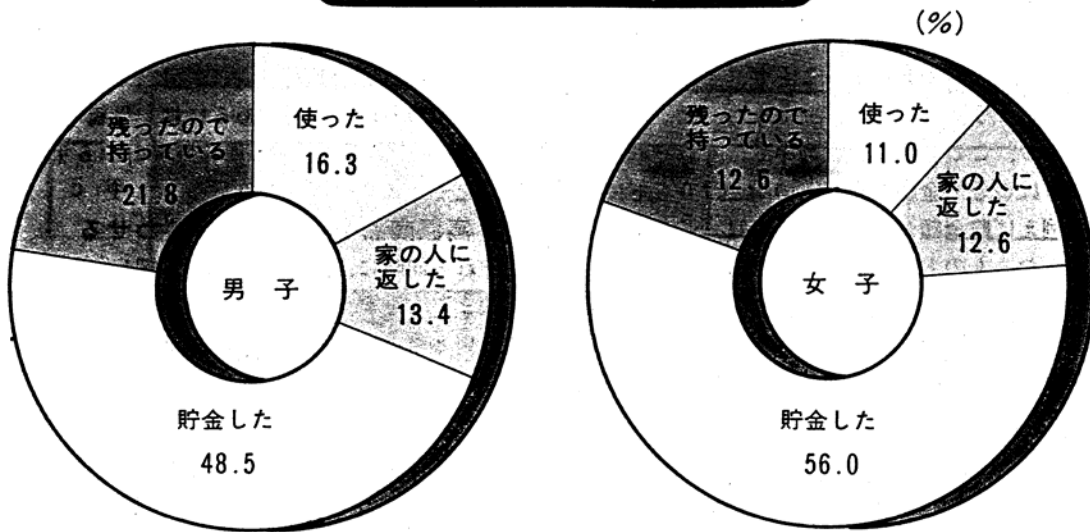
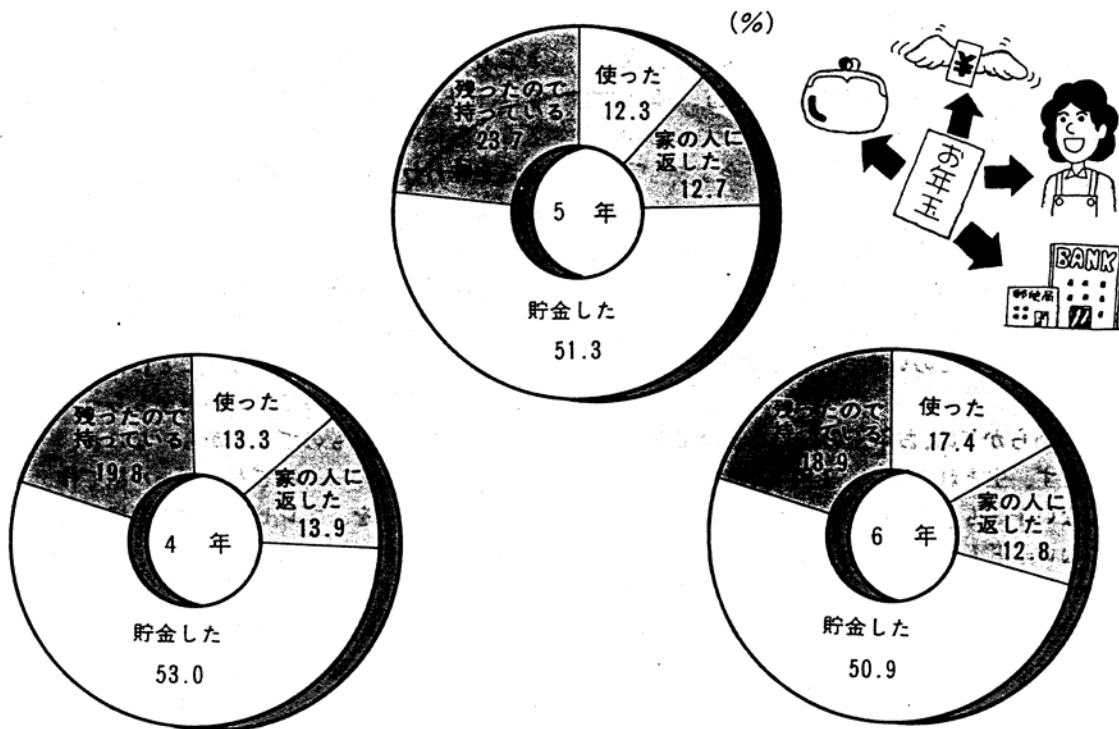


図23・お年玉のゆくえ(学年別)



## おねがい

これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいして、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

〈やりかたの練習〉

あなたはカレーライスが好きですか？

とても好き 1 \_\_\_\_\_ かなり好き ② \_\_\_\_\_ ふつう 3 \_\_\_\_\_ すこしきらい 4 \_\_\_\_\_ とてもきらい 5 \_\_\_\_\_

あなたがもしカレーライスを かなり好き だと思ったら上のように番号のところを○でかこんでください。

1) まず学年などを書いてください。

① 学校の名まえ \_\_\_\_\_ 小学校

② 学年…………… (4、5、6) 年 <○でかこむ>

③ 男女…………… (1.男 2.女) <○でかこむ>

<これからずっと聞いていくのは、今年あなたがもらった お年玉 のことです>

2) あなたは、今年、お年玉を何人の人からもらいましたか。

人

3) もらった金がかくは、ぜんぶ合わせていくらぐらいでしたか。

円ぐらい

4) それは、あなたがもらう前に考えていた金がかくとくらべてどうですか。

とても 1 \_\_\_\_\_ わりと 2 \_\_\_\_\_ だいたい 3 \_\_\_\_\_ わりと 4 \_\_\_\_\_ とても 5 \_\_\_\_\_  
 少なかった 少なかった 同じだった 多かった 多かった

5) あなた位の小学生がもらうお年玉は、みんなからもらう分を合わせていくらぐらいがちょうどいいと思いますか。

円ぐらい

6) あなたのクラスの友だちは、ぜんぶでだいたいどのくらいもらったと思いますか。

円ぐらい

7) あなたに、今年、いちばんたくさんお年玉をくれた人はだれですか。あてはまる人に○をつけなさい。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. おとうさん | 6. おばさん       |
| 2. おかあさん | 7. おとうさんの会社の人 |
| 3. おじいさん | 8. おかあさんの友だち  |
| 4. おばあさん | 9. 知らない人      |
| 5. おじさん  | 10. その他       |

8) その人はいくらくれましたか。

円

9) お年玉をくれた中で、いちばん少なかったのはだれですか。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. おとうさん | 6. おばさん       |
| 2. おかあさん | 7. おとうさんの会社の人 |
| 3. おじいさん | 8. おかあさんの友だち  |
| 4. おばあさん | 9. 知らない人      |
| 5. おじさん  | 10. その他       |

10) その人はいくらくれましたか。

円

● 資料1 調査票見本

11 おとうさんはいくらくれましたか。品物の場合はその名前をかいてください。

お金の場合	品物の場合
□ 円	□

12 その金がくは、あなたがもらう前に考えていただくくらべてどうですか。

とても 少なかった 1	わりと 少なかった 2	だいたい 同じだった 3	わりと 多かった 4	とても 多かった 5
-------------------	-------------------	--------------------	------------------	------------------

13 おとうさんがお年玉をくれる時、どのようにしてくれましたか。

- |                 |              |         |
|-----------------|--------------|---------|
| 1. お金のまま        | 3. 紙につつんで    | 5. そのほか |
| 2. お年玉用のふくろに入れて | 4. ふつうのふうとうで |         |

14 おとうさんがお年玉をくれたのはいつでしたか。

- |             |            |           |
|-------------|------------|-----------|
| 1. 1月1日の朝   | 3. 1月1日の夜  | 5. くれなかった |
| 2. 1月1日の昼ごろ | 4. 1月2日より後 | 6. そのほか   |

15 その時、家族はみんないましたか。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 家族のみんながそろったところで | 2. みんなはそろっていないかった |
|--------------------|-------------------|

16 おとうさんがくれたのは別に、おかあさんもくれましたか。

1. くれなかった
2. くれた
- |       |     |
|-------|-----|
| 金がかく  | □ 円 |
| 品物の場合 | □   |

17 お年玉をもらう前に、あなたが「お年玉をもらったら買おう」と思っていたものは何でしたか。その中で、いちばん高いものは何でしたか。(もし何か買いたいと思っていたものがなかったら何もかかなくていいです)

ほしかった品物	金がかく
□	□ 円ぐらい

18 お年玉であなたがじっさいに買ったもののうち、金がかくの高いじゅんに3つ書いてください。

品物	ねだん
□	□ 円ぐらい
□	□ 円ぐらい
□	□ 円ぐらい

19 もらったお年玉の中で、今あなたがお金でもっているのはいくらですか。

□ 円ぐらい

20 もらったお年玉の中で、銀行やゆうびん局にちょ金をしたのはいくらですか。

□ 円ぐらい

21 あなたがちょ金をしたのはなぜですか。いちばんびつたりするもの1つに○をつけなさい。

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. とくに買いたいものがなかったから         | 3. 家の人にいわれたので、仕方なく |
| 2. ちょ金がふえるのが楽しみだから、自分からすすんで | 4. ちょ金はしなかった       |

22 今、あなたのちょ金は、全部でいくらぐらいになっていますか。

□ 円ぐらい

23 もらったお年玉の中で、家の人にあずけたりかえしたりしたのはいくらですか。

□ 円ぐらい

24 その(あずけたり、かえしたりした)お金は、これから先、どうなりますか。

1. 家の人にとり上げられてしまったので、もうもどらないだろう。
2. いつでも、好きな時に(銀行と同じように)かえしてもらえる
3. 高いものを買うときの、たしにしてもらうので、もう自分にはもどって来ないだろう
4. わからない

(これでおわりです。どうもありがとうございました。)



● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別			
		男子	女子	4年	5年	6年	
Q1 サンプル数	4年	496	256	240			
	5年	566	301	265			
	6年	404	206	198			
	男子	763					
	女子	703					
Q2 くれた人の数	1. 0~5	33.2	34.4	32.2	34.6	32.7	32.7
	2. 6~10	48.7	49.1	48.6	47.7	48.4	50.9
	3. 11~15	12.8	10.6	15.0	11.9	14.5	11.2
	4. 16~20	4.0	4.5	3.2	3.8	3.6	4.4
	5. 21~	1.3	1.4	1.0	2.0	0.8	0.8
	平均(人)	7.83	7.74	7.93	8.02	7.79	7.66
Q3 もらった金額	1. 0~10,000	33.2	32.3	33.1	35.6	33.3	27.0
	2. 10,001~20,000	36.4	36.3	37.6	36.0	37.0	38.2
	3. 20,001~30,000	18.2	18.2	18.1	16.0	16.1	22.0
	4. 30,001~40,000	6.2	6.2	6.3	6.0	7.6	6.5
	5. 40,001~50,000	3.0	3.4	2.7	3.0	2.7	3.5
	6. 50,001~	3.0	3.6	2.2	3.4	3.3	2.8
	平均(円)	19,681	20,261	19,053	19,259	19,293	20,747
Q4 予想と比べて	1. とても少なかった	6.6	8.8	4.2	7.3	6.0	6.5
	2. わりと少なかった	11.7	13.9	9.3	10.3	12.8	11.9
	3. だいたい同じだった	34.1	33.1	35.3	35.2	35.0	31.8
	4. わりと多かった	29.6	25.5	34.0	24.9	28.8	36.4
	5. とても多かった	18.0	18.7	17.2	22.3	17.4	13.4
Q5 ちょうどいい金額	1. 0~10,000	45.2	40.4	50.7	48.4	45.3	43.1
	2. 10,001~20,000	34.2	36.3	32.1	32.6	35.9	34.2
	3. 20,001~30,000	11.8	13.1	10.6	10.1	11.0	13.0
	4. 30,001~40,000	2.7	3.4	1.7	2.3	2.8	2.9
	5. 40,001~50,000	3.4	3.7	2.7	4.0	2.4	3.6
	6. 50,001~	2.7	3.1	2.2	2.6	2.6	3.2
	平均(円)	23,865	27,029	20,409	21,019	21,995	29,887
Q6 友だちがもらった金額の推定	1. 0~10,000	26.6	24.9	28.4	29.7	25.2	22.6
	2. 10,001~20,000	41.7	40.6	43.1	38.7	42.6	44.5
	3. 20,001~30,000	18.7	19.6	18.0	17.2	19.3	19.3
	4. 30,001~40,000	3.7	4.1	3.2	3.0	4.4	3.6
	5. 40,001~50,000	3.5	3.9	3.0	3.6	4.1	2.9
	6. 50,001~	5.8	6.9	4.3	7.8	4.4	7.1
	平均(円)	37,394	44,193	30,083	38,303	31,684	44,319
Q7 いちばんたくさんくれた人	1. おとうさん	21.1	21.2	21.0	18.5	21.5	23.7
	2. おかあさん	4.4	4.6	4.3	4.2	5.1	3.7
	3. おじいさん	20.8	21.5	20.1	21.6	21.0	19.9
	4. おばあさん	25.6	26.3	24.5	26.8	25.5	23.7
	5. おじさん	10.9	9.3	12.7	9.7	11.8	11.1
	6. おばさん	11.7	10.1	13.4	11.9	12.0	11.1
	7. おとうさんの会社の人	3.3	4.0	2.6	3.3	2.3	4.7
	8. おかあさんの友だち	1.7	2.3	1.1	2.9	0.6	1.8
	9. 知らない人	0.5	0.7	0.3	1.1	0.2	0.3
Q8 一人の最高額	1. ~2,000	18.9	18.2	19.7	22.1	18.4	15.3
	2. 2,001~4,000	29.0	27.3	30.9	30.5	29.4	26.9
	3. 4,001~6,000	30.1	30.9	29.6	27.8	30.5	32.5
	4. 6,001~8,000	1.6	2.2	1.0	1.4	1.6	1.7
	5. 8,001~10,000	16.1	16.5	15.5	13.8	16.1	18.8
	6. 10,001~	4.3	4.9	3.3	4.4	4.0	4.8
平均(円)	5,564	5,947	5,146	5,236	5,594	5,919	

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
Q 9	いちばんくれた人	1. おとうさん	30.2	31.9	28.0	33.0	28.9	28.5
		2. おかあさん	18.5	18.8	18.1	17.2	19.9	17.9
		3. おじいさん	3.8	4.0	3.7	4.7	4.0	2.6
		4. おばあさん	6.1	4.9	7.5	3.5	7.0	8.0
		5. おじさん	12.8	11.5	14.3	11.4	12.7	14.8
		6. おばさん	14.0	13.8	14.3	13.0	13.3	16.2
		7. おとうさんの会社の人	4.5	4.3	4.8	5.1	4.6	3.7
		8. おかあさんの友だち	6.2	6.7	5.6	7.4	6.8	3.7
		9. 知らない人	3.9	4.1	3.7	4.7	2.8	4.6
Q 10	一人の最低額	1. 0~1,000	70.2	69.4	71.4	75.8	68.9	63.7
		2. 1,001~2,000	20.2	20.4	19.9	15.8	23.2	21.9
		3. 2,001~3,000	6.7	6.9	6.2	6.4	5.6	9.5
		4. 3,001~4,000	0.7	0.9	0.5	0.5	0.6	1.1
		5. 4,001~5,000	1.2	1.6	0.8	0.7	1.1	1.8
		6. 5,001~	1.0	0.8	1.2	0.8	0.6	2.0
		平均 (円)	1,401	1,467	1,330	1,226	1,313	1,732
Q 11	お父さん	金額						
		1. 0~1,000	37.5	36.9	38.2	45.1	39.2	25.8
		2. 1,001~2,000	24.0	24.1	23.8	24.2	21.9	27.4
		3. 2,001~3,000	17.1	16.6	17.8	13.0	17.6	22.1
		4. 3,001~4,000	2.9	3.1	2.6	3.1	2.5	3.0
		5. 4,001~5,000	11.1	11.9	10.1	9.0	12.1	12.3
		6. 5,001~	7.4	7.4	7.5	5.6	6.7	9.4
平均 (円)	2,732	2,794	2,665	2,452	2,706	3,140		
Q 12	お父さん	予想と比べて						
		1. とても少なかった	12.1	14.6	9.3	13.5	11.3	11.3
		2. わりと少なかった	12.9	12.4	13.4	15.1	11.3	12.3
		3. だいたい同じだった	47.5	44.9	50.5	45.4	49.2	48.0
		4. わりと多かった	18.7	19.1	18.3	15.9	18.7	22.3
Q 13	お母さん	わたし方						
		1. お金のまま	10.2	9.7	10.6	10.6	9.4	10.7
		2. お年玉用のふくろに入れて	80.3	79.7	81.1	82.9	79.2	78.6
		3. 紙につつんで	1.5	1.4	1.6	1.3	1.5	1.6
		4. ふつうのふうとうで	1.0	1.3	0.8	0.6	1.2	1.4
Q 14	お母さん	年						
		1. 1月1日の朝	49.5	48.8	50.4	48.3	48.8	52.0
		2. 1月1日の昼ごろ	19.6	19.0	20.4	21.0	20.0	17.3
		3. 1月1日の夜	5.5	4.9	6.0	5.5	6.4	4.2
		4. 1月2日より後	14.1	15.8	12.2	16.4	12.5	13.4
		5. くれなかった	7.5	7.7	7.2	5.0	8.4	9.4
Q 15	お母さん	家族は						
		1. 家族がそろったところで	81.9	80.2	83.7	82.6	79.3	84.6
Q 16	お母さん	お母さんのお年玉						
		2. みんなはそろっていなかった	18.1	19.8	16.3	17.4	20.7	15.4
Q 16	お母さん	たくさん						
		1. くれなかった	46.7	46.2	47.4	44.1	47.1	49.3
Q 16	お母さん	お母さんのお年玉						
		2. くれた	53.3	53.8	52.6	55.9	52.9	50.7
Q 16	お母さん	お母さんのお年玉						
		1. お金で	52.7	55.0	50.5	57.7	51.4	49.0
Q 16	お母さん	お母さんのお年玉						
		2. 物で	6.0	6.7	5.3	9.1	4.6	4.2
Q 16	お母さん	お母さんのお年玉						
		1. 0~1,000	47.5	46.0	49.1	52.9	48.2	39.0
		2. 1,001~2,000	28.4	26.4	31.0	29.2	26.7	30.8
		3. 2,001~3,000	13.1	15.0	10.8	11.4	13.6	14.1
		4. 3,001~4,000	1.6	1.7	1.4	0.7	1.3	3.0
		5. 4,001~5,000	7.1	8.6	5.4	4.2	8.2	9.6
6. 5,001~	2.3	2.3	2.3	1.6	2.0	3.5		
平均 (円)	2,057	2,231	1,851	1,703	1,957	2,714		

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
Q 17	あるか	1. ある	47.1	53.3	40.3	49.8	45.9	45.3	
		2. ない	52.9	46.7	59.7	50.2	54.1	54.7	
	金額	1. 0～2,000	31.2	22.5	40.5	30.7	32.8	25.2	
		2. 2,001～4,000	15.2	12.0	18.1	11.3	15.3	16.8	
		3. 4,001～6,000	20.5	24.3	17.1	27.1	17.1	18.4	
		4. 6,001～8,000	3.5	4.3	2.6	3.2	5.5	2.2	
		5. 8,001～10,000	7.6	10.8	4.3	6.0	8.6	10.9	
		6. 10,001～	22.0	26.1	17.4	21.7	20.7	26.5	
		平均 (円)	10,496	11,882	8,504	9,548	10,650	11,558	
	お年玉で買った物	一番高かった物	1. 買った	54.2	58.3	49.8	52.4	53.4	57.7
2. 買わなかった			45.8	41.7	50.2	47.6	46.6	42.3	
金額		1. 0～2,000	49.1	42.2	56.3	49.9	53.8	39.5	
		2. 2,001～4,000	16.6	14.0	19.3	16.1	14.7	19.0	
		3. 4,001～6,000	16.1	21.9	10.4	20.1	14.9	15.1	
		4. 6,001～8,000	3.8	4.7	2.7	2.8	3.9	5.2	
		5. 8,001～10,000	4.8	5.5	4.0	4.3	4.5	6.3	
		6. 10,001～	9.6	11.7	7.3	6.8	8.2	14.9	
		平均 (円)	5,180	5,852	4,327	4,864	4,472	6,453	
Q 18		お年玉で買った物	一番高かった物	1. 買った	32.2	35.4	28.7	31.7	32.5
	2. 買わなかった			67.8	64.6	71.3	68.3	67.5	67.6
	金額	1. 0～2,000	78.7	70.0	88.1	81.0	78.8	73.7	
		2. 2,001～4,000	12.9	16.8	8.9	14.0	11.1	15.4	
		3. 4,001～6,000	5.2	7.5	2.5	3.8	5.9	6.1	
		4. 6,001～8,000	0.8	1.5	0.0	0.6	0.5	1.6	
		5. 8,001～10,000	1.0	1.5	0.5	0.0	1.6	1.6	
		6. 10,001～	1.4	2.7	0.0	0.6	2.1	1.6	
		平均 (円)	1,753	2,280	1,049	1,421	1,919	1,918	
		三番目に高かった物	1. 買った	22.8	25.7	19.6	21.8	24.7	21.3
2. 買わなかった			77.2	74.3	80.4	78.2	75.3	78.7	
金額		1. 0～2,000	88.5	83.9	93.5	90.8	86.6	86.0	
		2. 2,001～4,000	5.4	7.1	3.6	4.6	5.7	7.0	
		3. 4,001～6,000	3.8	4.5	2.9	2.8	3.5	5.8	
		4. 6,001～8,000	1.0	2.0	0.0	0.0	2.1	1.2	
		5. 8,001～10,000	0.5	1.0	0.0	0.9	0.7	0.0	
		6. 10,001～	0.8	1.5	0.0	0.9	1.4	0.0	
		平均 (円)	1,372	1,828	725	1,060	1,797	1,073	
Q 19		お年玉のこり	金額	1. 0～2,000	36.0	29.9	43.1	39.8	31.4
	2. 2,001～4,000			10.4	10.7	9.9	12.0	11.9	6.8
	3. 4,001～6,000			11.0	11.2	10.6	9.2	8.3	16.3
	4. 6,001～8,000			3.6	3.3	4.0	3.7	3.2	4.6
	5. 8,001～10,000			10.6	11.5	9.6	11.6	10.0	9.6
	6. 10,001～			28.4	33.4	22.8	23.7	35.2	23.8
				平均 (円)	9,446	11,228	7,730	8,088	10,790
Q 20	お年玉で貯金	金額	1. 0～2,000	8.0	8.9	7.0	9.5	6.8	6.7
			2. 2,001～4,000	6.2	6.8	5.5	4.9	6.7	6.6
			3. 4,001～6,000	10.8	8.8	12.6	12.4	10.1	8.9
			4. 6,001～8,000	6.5	5.9	7.1	7.4	5.5	6.2
			5. 8,001～10,000	14.9	14.3	15.7	13.4	15.7	14.4
			6. 10,001～	53.6	55.3	52.1	52.4	55.2	57.2
	平均 (円)	17,914	18,607	17,185	16,926	18,876	17,774		
Q 21	理由	1. 特に買いたいものがなかった	25.4	24.3	26.5	19.9	26.4	30.5	
		2. 増えるのが楽しみで、進んで	50.8	48.1	53.9	52.5	51.9	47.3	

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	4年	5年	6年	
Q 21	理由	3. 家の人にいわれて仕方なく	11.2	13.4	8.9	16.8	8.5	8.4
		4. しなかった	12.6	14.2	10.7	10.8	13.2	13.8
Q 22	貯金総額	1. 0～10,000	18.3	17.0	19.7	28.7	12.9	10.6
		2. 10,001～20,000	11.8	10.2	13.6	11.1	11.3	12.1
		3. 20,001～30,000	9.7	10.8	8.6	10.1	10.1	8.2
		4. 30,001～40,000	8.1	8.3	7.9	8.2	8.9	5.9
		5. 40,001～50,000	10.2	9.7	10.7	8.2	10.1	12.2
		6. 50,001～	41.9	44.0	39.5	33.7	46.7	51.0
		平均 (円)	87,279	92,711	81,096	85,844	87,087	89,392
Q 23	家の人にかえすか 金額	1. 0～2,000	49.2	45.6	53.6	55.0	48.4	39.9
		2. 2,001～4,000	11.9	11.6	12.3	12.5	10.5	15.1
		3. 4,001～6,000	10.8	11.0	10.5	6.8	11.7	14.5
		4. 6,001～8,000	2.8	3.7	1.8	2.0	2.7	4.0
		5. 8,001～10,000	8.6	9.0	8.1	8.7	7.8	9.6
		6. 10,001～	16.7	19.1	13.7	15.0	18.9	16.9
		平均 (円)	3,440	3,849	2,995	3,373	3,551	3,367
Q 24	かえしたら	1. もうかえしてもらえない	7.7	9.0	6.2	7.9	8.4	6.5
		2. いつでもかえしてもらえる	33.0	32.0	34.1	32.5	35.9	29.7
		3. 高い物を買う時のたしになる	10.4	10.4	10.4	10.5	10.1	10.8
		4. わからない	48.9	48.6	49.3	49.1	45.6	53.0